令和　6　年度　下　　半期　指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	宮下コミュニティ会館	所管課	男女共生・生涯学習推進課
所在地	岐阜市柳津町下佐波四丁目37番地		
指定管理者名	宮下コミュニティ会館管理運営委員会		
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日		
選定方法	□　公募　　☑　非公募		
料金制	□　使用料　　□　利用料金　　☑　料金徴収なし		
指定管理委託料（年額）	872，000円		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、学習、保育、休養、及び集会の用に供し、健康で文化的な近隣社会の構築とその発展に寄与するため。		
施設概要	・建築年月：平成3年2月 ・敷地面積：965．00㎡　延床面積：339．70㎡ ・休養室、保育室、学習室、集会室		

●利用状況

		R06 下半期	R06 上半期	R05 下半期	R05 上半期	R04 下半期	R04 上半期
利用者数（単位：人）		2,640	2,650	2,329	2,660	1,367	1,102
各室稼働状況（%）	休養室	7.9	3.2	5.8	5.0	2.6	2.6
	保育室	23.7	20.4	14.3	16.9	12.5	6.4
	学習室	31.6	34.4	29.9	31.3	32.2	23.6
	集会室	48.7	47.1	48.7	51.3	30.9	29.9

●業務の履行確認

区　分	確　認　事　項	履　行　状　況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②苦情への対応	供用日・利用時間を遵守している。苦情は特になかった。
施設管理	①清掃、点検を常に行う。	戸締り、ガスの元栓、電気の点検を行っている。清掃は利用者が行う。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	修繕について市と協議を行った。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	利用申請書と鍵は、委員長宅に適切に保管している。 市所管課との非常時の連絡体制を構築している。 関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	会館にアンケート回収箱を設置している。 2月1日～2月28日までアンケートの積極的な実施を行った。
利用者アンケートの実施結果	アンケートの実施（総数：8件） ◎施設の満足度 満足0% まあ満足25% どちらともいえない25% やや不満50% 不満0% 未記入0% ◎年代 10代未満0% 10代0% 20代0% 30代0% 40代0% 50代13% 60代12% 70代75% 80歳以上0% 未記入0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・特になし

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市柳津地区学習等供用施設の運営上の基本方針	・利用者が利用しやすいサービスの向上と市民の平等な使用を確保する事を基本方針とした運営をしているか ・特定の団体及び個人に有利又は不利となる運営をしていないか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上で方針と主な事業計画	・地域の連帯意識を高め、学習、保育、休養及び集会の用に供し、健康で文化的な近隣社会の構築とその発展に寄与しているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・お客様アンケートを実施して利用者ニーズを把握し、その声をもとに、より良い施設へと改善しているか ・利用促進、利用者増の方策を考えているか	A	B	B
		区分評価				B
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	施設管理を行っていく上での方針と具体策	・会館の清掃・点検を常に行うなどして、利用者に使用しやすいように会館の環境を整えているか	A	A	A
		指定管理経費の妥当性と経費縮減の方策	・エアコンの設定を、夏は28℃・冬は18℃としているか ・エアコンのフィルターの掃除を年2回以上行っているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造	・鍵の管理は、委員長が行っているか ・使用申請を受け、委員長は使用許可の交付を行っているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方策	・使用者に対し使用の際の遵守事項を徹底させているか	A	A	A
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・異常や事故等緊急事態を見つけたら速やかに市に報告しているか ・防火管理者として担当業務を遂行しているか	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって事業推進ができる組織的な基礎があるか	・運営組織が、地域の各種団体より選出された者で組織されているか	A	A	A
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・運営組織が、地域に居住する者で組織されているか	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	事業計画に従い良好に運営できている。 施設整備等利用者の活動環境の改善に努めた。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	アンケートについて、利用者に対して実施した。 施設管理について、利用者が使用しやすい環境整備に努めた。
今後の取組み	―

●所管課の意見

当施設は、地域活動の拠点として、地域の各種団体代表者により構成された組織で運営されており、利用者目線に立った管理運営が行われている。また、定期的に施設の清掃、設備の点検を行っている。
施設の経年劣化や不具合について、修繕を計画するなど、利用者が安全・快適に施設を利用できるよう環境整備に努めている。可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。
令和6年度下半期に実施したアンケートの結果、施設の満足度について「満足」「まあ満足」があわせて25%と少なく、回答数も少なかった(回収数8)。
下半期の利用者数については、前年度下半期の1．1倍同程度であった。また、施設における消毒液の設置による衛生対策の活用など、適切な感染防止対策に取り組んだ。
以上の事から、適正な施設運営が行われていると評価できる。

●指定管理者評価委員会の意見

柳津エリアの人口に対して、施設数が非常に多い。
今までは自治会長がボランティアで管理をしていたため、直営にすることで、人件費部分が増額になるのではないのか。
柳津エリアにだけ、これだけの数の施設を置いたままにしておくというのが、岐阜市内のバランスとして、いかがか。当該施設全てを残し、市が管理をし続けることに対して、不平等と感じる。